

京城日報

刊夕日一十二

●南支愈不穩

五國臨機の行動を採らん
南支那の形勢刻々不穩の状態を加ふるに拘らず、五國政府は近頃、南支那の形勢を無視するものにして、五國政府の行動を採らん。南支那の形勢は、五國政府の行動を採らん。南支那の形勢は、五國政府の行動を採らん。

●露太公殿下御退京

露國太公殿下は廿一日午前、露國大使館より一行を離れ、東支那の形勢を無視するものにして、五國政府の行動を採らん。露國太公殿下は廿一日午前、露國大使館より一行を離れ、東支那の形勢を無視するものにして、五國政府の行動を採らん。

●歐洲大戰亂

獨逸の流布する一種の報道
獨逸の流布する一種の報道。獨逸の流布する一種の報道。獨逸の流布する一種の報道。獨逸の流布する一種の報道。獨逸の流布する一種の報道。

●英對獨逸海軍封鎖擴大

獨逸に對する封鎖を更に擴大する爲めの手段を
獨逸に對する封鎖を更に擴大する爲めの手段を。獨逸に對する封鎖を更に擴大する爲めの手段を。獨逸に對する封鎖を更に擴大する爲めの手段を。獨逸に對する封鎖を更に擴大する爲めの手段を。

●獨逸勃王と會す

阿姆斯特ダムに來た獨逸皇太子勃國王と會す
阿姆斯特ダムに來た獨逸皇太子勃國王と會す。阿姆斯特ダムに來た獨逸皇太子勃國王と會す。阿姆斯特ダムに來た獨逸皇太子勃國王と會す。阿姆斯特ダムに來た獨逸皇太子勃國王と會す。

●獨逸開戰以來の損害高

獨逸開戰以來の損害高。獨逸開戰以來の損害高。獨逸開戰以來の損害高。獨逸開戰以來の損害高。獨逸開戰以來の損害高。

●露軍の對土軍大勝利

露軍の對土軍大勝利。露軍の對土軍大勝利。露軍の對土軍大勝利。露軍の對土軍大勝利。露軍の對土軍大勝利。

●在野黨演說會

在野黨演說會。在野黨演說會。在野黨演說會。在野黨演說會。在野黨演說會。

●利下問題再燃

利下問題再燃。利下問題再燃。利下問題再燃。利下問題再燃。利下問題再燃。

●正貨準備激増

正貨準備激増。正貨準備激増。正貨準備激増。正貨準備激増。正貨準備激増。

●工業俱樂部成

工業俱樂部成。工業俱樂部成。工業俱樂部成。工業俱樂部成。工業俱樂部成。

●明太の大豊漁

明太の大豊漁。明太の大豊漁。明太の大豊漁。明太の大豊漁。明太の大豊漁。

●寒中飛機奉伺

寒中飛機奉伺。寒中飛機奉伺。寒中飛機奉伺。寒中飛機奉伺。寒中飛機奉伺。

●特使隨員北行

特使隨員北行。特使隨員北行。特使隨員北行。特使隨員北行。特使隨員北行。

●郵運賃引上

郵運賃引上。郵運賃引上。郵運賃引上。郵運賃引上。郵運賃引上。

●朝郵運賃引上

朝郵運賃引上。朝郵運賃引上。朝郵運賃引上。朝郵運賃引上。朝郵運賃引上。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

●獨逸七千噸輸出

獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。獨逸七千噸輸出。

油醬上最



位本質品的對絕
譽名の一唯界造釀滿鮮
會進共產物年五於
領受牌金

社合式株油醬本日
所出城京

英語獨學

特許
機械製
ぼるれ味増

リヒルトワナー

新刊
リヒルトワナー

西洋音樂講話

新刊
西洋音樂講話

米期

新刊
米期

新刊書御案内

新刊
新刊書御案内

總督の諭告と吾人の覺悟

朝鮮の市街は道路網を被覆にして、周回甚しく街衢不整にして、交通處所、固共に劣惡を極め、市街の發展を阻礙すること甚からざるを以て總督は、大之れが改修の必要を認め、或は國費を以て之を經營し、或は地方官若くは府の經營に對して國庫の補助を與ふる等、大に其整理に盡し、所在地の住民亦た奮うて之が經營に着手するものあり、之が經營に着手する市街は京城をはじめ、鎭海、平壤、全州、咸興、釜山、漢城、蔚山、光州、開城、忠州、各府、郡、縣の諸市にして、就中、京城の如きは、大正二年以來、昨三月、末に於て七十二萬五千餘圓の經費を支出し、總延長三百六十一哩の改修了へたり。

蕪湖寧國府縣

蕪湖縣は蕪湖寧國府間の鐵道に於ける此線は一九〇九年安徽省政府が英萬里公司に權利を借與せるものにして借款は約四十五萬磅の豫定額なり。尙ほ此總線は寧國府より屯溪に至るまで及び寧國府より杭州府までの延長線を興築すること二百七十里、總額百六十萬磅の外資を輸入し、若して中央政府は此計畫を實行せざるも未だ工事に着手し居らず。

厦門甌閩鐵路

を一括して新選派の說明ありて案
附託

五、國庫用紙金銀敷計算法案
委員長徳川經倫、民衆會の經過並に
結果を報告し、原案可決

六、幣制局設備擴張に關する法
律案
委員長青木信光、委員の經過並に
結果を報告し、原案可決

七、幣制局設備擴張に關する法
律案
委員長徳川經倫、民衆會の結果を報
告す

▽目賀田男 本案は重大議案な
るを以て、今、應政府の意見は承はり
て、又聞き

議會に入り、原案可決

九、軍人恩給法改正の請願
十、米價調節に關する請願
は一括して委員長報告通り採擇に決
し、午前十一時散會せり

▲豫算總會

貴族院豫算總會は二十一日午前十一
時二十分開會

▽石渡敏一氏の 外債償還に
關する質問に對し

▽武富藏相 は政府は今
後十年を経ば約五億圓以上の
の外債を償還する計畫に

員
族
院
(二)

回帝國議會

長徳川賴倫侯委員會の經過並

九、軍人恩給法中改正の請願
十、米價調節に關する請願

は一括して委員長報告通り採擇に決し午前十一時散會せり

報告し、議決を原案可決

法に
▽石渡敏一氏の外債償還に
貴族院豫算總會は二十一日午前十一時二十分開會

賀田男 本案は重大議案
以て今一應政府の意見を承は

△武富藏相は政府は今後十年を経ば約五億圓以上の外債を償還する計畫を

宜を隔らんとするに在り而
洲には其例無きも米國には實
簡單之答へていふで

例●し 易き
して大體に於て漸次減債する方針なりと答ふ石澤氏は外債全部償還不能なる時は右借替を爲さざる可からず此の場合減債基金を増加せずして其

止め 長の答辯あり二韻會に入りし

得ざるも歐州戰終了後と雖も十年間
 位は今日の状況持續するならん又減
 少するも
 目録を這し得るや否やと盤す
 たいとみざるや否やと盤す
 武富藏相 今日豫断し

る經費を要求せられたるが果

る可しと答ふ
▽石渡敏一氏 果して然ば今
日に於て鐵道費金二千萬圓

へたるに男は更に

水定なるも成
希望し居れり
土庫覽置に
要求の大部
に抗議し又勸告せんと欲するにあら
ず日露兩國の二大勢力を一東とし東
洋の平和を永遠に維持せんと欲する
に外ならず

田健次郎男

に就ては既
に史に支那帝
は是に支那帝
の利益を能くするものと思ふは誤り
なり日清同盟は支那の利益にして又
列國の利益ともなる也
世人或は云ふ、東洋の平和を維持

延期觀望を發したるは

する目的に對しては既に日英の同盟あれば此の上更に日露同盟の必要なる可しと、されど日英同盟にては我が大陸國防上最も大關係を有す

大隈首相

和の意見と敢て、此の問題を解決し東洋の平和を維持するには日露同盟の必要あり而して吾輩は今や其の機漸く熟し余は新聞のつゝあるを認むる也(十九日)

を來すを恐る

蘇連河會戰期

ものにして多少の相違
を出す必要無しと答へた

とも質す首相
 談話を集めた
 違ふも別に
 何は二三の質
 道は既に連河を距る二十邦里の地獄
 道を敷設し前進準備著々進接し前
 ナーム前方蘇士兩方面に軍用輕便鐵
 輕的不要なる鐵道を破壞運搬しエ
 三

に關する點ありて
秘密會に入り同四時

に達し前哨は最早埃及軍の前哨と諸所に衝突せるが如し而かして遠征軍の作戦は此の附近に帯給水に不便なるを以て二三月頃を以て一大決戰

路國皇叔ジョー
親しく日本を訪問せ

り
シユ太公^{たこう}公^{こう}下^げ
られたるに就^つ
ならん又埃及^{えがいき}軍^{ぐん}は運河^{えんが}の維^い持^ぢに全^{けん}方^{ほう}
衝突^{しょうとつ}は二^に月^{げつ}中^{ちゅう}旬^{じゆん}以後^{いご}に於^おて行^いはるゝ
沙^さ漠^{ばく}地^ち帯^{たい}なるを以^もて大^{たい}軍^{ぐん}の行^い動^{どう}多^{おほ}少^{せう}
の困^{くわん}難^{なん}を免^{めん}かれざるにより大^{たい}部^ぶ隊^{たい}の

洲戰争開始以來日本
意に對し滿腔の謝意

加する事疑ひなければ、勞核及軍に
 は海上掩護の利益あれば、三國聯合軍
 が如何に蕩擻も運河を攻略する必
 知きは斷じて不可能ならん然れども

[illegible]

〔廿一日午後東京支局特電〕

勝負
る内に唯一押と突きかゝるそ

男島を所突放して勝は

小錦こしん 單ひとなりき

大鵬門に杉木山

常陸 仕切り矢聲諸共立ち上るやガ

鳴門なりもん 右四つみぎよっぴ 栃木とちぎ 左上みぎうへ 手て を取るやぐとるやぐ

蛇瀉 づは金屬力に寄り進み咄門の
らんとするを溶ひせ氣味に寄

馬洋
て板木の勝は大喝采

預柏戸
大蛇潟に大錦

は是まで二回の参戦に一勝一
が三度目の決戦ともいふべき

なり 双方入念に仕切り大蛇の

立ち上るや錦素早くヅブリ一
となれば大蛇口ハ失收つたり

手を引きしが錦一息入るや

に 振 上 げ 大 蛇 が ウ ン と 首 を

勝は満場大喝采

鳳に對馬洋

●玉椿に逆●
は好取組かうとりぐみパツタリひだり左四つに逆

頭を下げて喰ひ下がり對馬の

玉殘して
かんとするを對馬引かせず同

得意の守を下げれば鳳又も肩透かし

て烏渡還返しを見せ對馬の出

を挫き息を計つて三度目の肩

△申入後

● ● ●
寒玉子に宮城山
は寒が突い

を宮城十俵際に殘して二本差
奇に進んで寄刃る

突き合ひ朝が右差となるを柏

本日の勝負豫想取組(右天竺)

龍
は

は岩木

A black and white portrait of a man with a beard, looking slightly to the side. The image is grainy and appears to be a reproduction from a newspaper or magazine.

世へて調
差すや左

土州山



「依（よ）に捲（ま）く」



み押し進んで押切る際朝打套

體に流れ預紅葉川に宇都宮

口を取つて綺麗に捻り、宇都の

眞砂石に
渡に四海波
は右四つ無雜作

援盛んなつた様なり

五分の値上げを發表せ
況に在るものは金價の
るを以て値上の嚴密な
なるべし

加納 踐郵税八錢 本社
家庭 下切歌子女史、結
博士、衛生、吉岡彌
伊東忠太博士、中
史、室内の裝飾、井上
鈴木武太郎氏、臺
吉氏、家庭經濟、嘉
洗瀧、宮川壽美子女
庭の娛樂、巖谷小波氏
我國家庭の改
築構造より、家
漏さず、可憐親
ります。加之
して家政上最
尚諸先生考
てあります、
學生諸嬢の、
最新刊の良書

報社代理部

東京博文館
本町

大將の少年時代
江見水雲
阿武天風
黒田湖山
詩遇長詩見
鏡(長詩見)
鏡(長詩見)
夢二、天風、櫻介、林氏
酒山、水二、櫻介、林氏
夢二、天風、櫻介、林氏
酒山、水二、櫻介、林氏

界 半錢一稅郵錢十價正
錢五十八圓八共稅金前

界 錢一稅郵錢十價正
錢一十八圓八共稅金前

契約高貳千萬圓

の特色

に於て最も進歩した
他に比して頗る低
を永久内地各府縣農
万産業資金とな

支店
立

